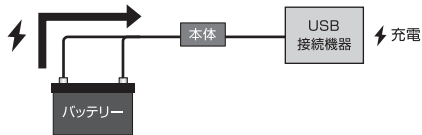


ACC ON USB接続機器充電モード

1. 車両のACCをONにしてエンジンを始動する。
2. USB Type-Cコード(別売)を使用して、本体のUSB Type-Cポートと充電したいUSB接続機器を接続し、LEDディスプレイに【OUT】と表示されていることを確認する。
 - ※エンジンを始動せずに充電をしないでください。バッテリー上がりの原因となります。
 - ※USB接続機器を接続したままエンジンをかけないでください。USB接続機器が破損するおそれがあります。
 - ※USB接続機器を接続したままACCをOFFにするとうSB接続機器から車両バッテリーを充電するおそれがあります。USB接続機器を取り外してからACCをOFFにしてください。
 - ※USB接続機器および出力に対応したUSB Type-Cコードを使用してください。



■使用上の注意

●必ずACC電源を接続してから使用してください。本製品および車両が故障したり、発火するおそれがあります。●USB Type-Cポート部は防水ではありません。雨天時は使用しないでください。●USB Type-Cポートに水や異物が入ると故障の原因となります。使用しない時は必ず防滴・防塵キャップを閉めてください。●走行中にUSB Type-Cコードの抜き挿しはおこなわないでください。●使用可能温度範囲を必ず守ってください。●バッテリー端子を外すと電装品のメモリーなどが消去される場合があります。●コードの⊕⊖を誤って接続したり、短絡させたりすると本製品および車両が故障します。絶対にしないでください。●各コード・変圧ユニットは必ず車体に固定してください。走行中にコードが断線するおそれがあります。●コードを無理に曲げたりねじりしないでください。断線するおそれがあります。●電源側には必ずヒューズを使用してください。●配線・使用方法によってはバッテリー上がりの原因となります。定期的にはバッテリーの電圧を確認してください。●接続するUSB接続機器によっては本製品が高温になる場合があります。●高温環境下での使用時は保護回路が作動し、一時的に電源供給ができなくなる場合があります。●USB Type-Cコードを延長・分岐・変換して使用しないでください。正常に充電できなくなるおそれがあります。●接続したUSB Type-Cコードを抜く時は、真っ直ぐ引き抜いてください。無理に引っ張ったり斜めに引き抜いたりすると、本体やUSB Type-Cコードの破損の原因となります。●防滴・防塵キャップを強く引っ張らないでください。本体から抜けるおそれがあります。●表示電圧はあくまで目安です。●取り付け後は緩み・脱落などがなにか定期的に確認してください。●本製品が摩耗・損傷・変形・経年劣化した場合は新しい製品と交換してください。●使用環境によりサビ・腐食が発生する場合があります。その場合は新しい製品と交換してください。●用途以外での使用はしないでください。※仕様・外観は予告なく変更する場合があります。※以下の原因によるトラブルや事故について、当社は一切責任を負いません。・保安基準に違反するような取り付け・製品の分解や改造・取り付け不備や配線ミスなど ※いかなる場合でもスマートフォンなどの接続機器のデータ消失・破損について、当社は一切責任を負いません。

保証規定

本製品はご購入日より1年間の保証が付いています。
ご購入の履歴がわかるものを、必ず保管してください。

通常の使用に伴う故障は修理または交換対応いたしますが、
逆接続などの誤った使い方・配線をされると保証対応できない場合があります。

株式会社 エーモン

兵庫県神崎郡福崎町南田原2077-1
TEL 0790-22-6262

イージーチャージャー

取扱説明書

この度は、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。本製品の使用をもって、本書記載内容を全てご理解・ご承諾いただいたものとみなしますので、本書の注意事項を守らず誤った使い方をされた場合のトラブルや事故について、当社は一切責任を負いません。また、本書は大切に保管してください。

△警告

- 車両の可動部・高温になる箇所・運転の妨げになる箇所に取り付けしないでください。
- コードの⊕⊖を逆に接続したり、短絡させたりすると本製品および車両が故障したり、発火するおそれがあります。必ず⊕⊖をよく確認し、正しく接続してください。
- ACC電源を含むすべての配線を実際に接続してください。本製品および車両が故障したり、発火するおそれがあります。
- 過度に劣化したバッテリーに充電をおこなった場合、バッテリーが過熱・膨張・液漏れするおそれがあります。このような現象が発生した場合はただちに充電を中止してください。
- 車両のイグニッションコイル、プラグなどから10cm以上離して配線、取り付けをしてください。コイルで発生するノイズにより本体が誤作動し、スマートフォンなどの接続機器および本製品が破損するおそれがあります。

△注意

- 本製品は使用中に表面が熱くなることがあります。動作には問題ありませんが触れ続けると低温ヤケドのおそれがあります。変圧ユニットは体に触れる箇所に取り付けしないでください。
- オーディオ(ラジオなど)にノイズが入ったり、レーダー探知機が誤作動を起こした場合、本製品をオーディオ・レーダー探知機の電源線/アンテナ線から遠ざけてください。

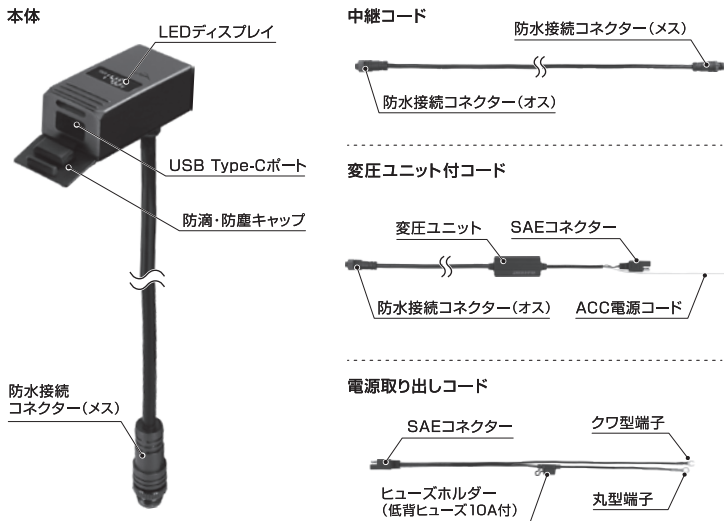
■製品仕様

12V車専用		使用可能温度範囲		-10~40℃	
車両バッテリー 充電モード	入力	5~20V	出力	14.4V 最大0.5A	
	対応バッテリー	12V鉛バッテリー	※12Vリチウム鉄リチウムイオンバッテリーも充電できますが満充電はできません。		
	推奨モバイルバッテリー容量	15,000mAh以上			
USB接続機器 充電モード	本体消費電流	8.5A(出力最大時)			
	出力	5V/3A・9V/3A・12V/3A・15V/3A・20V/5A			
	対応充電規格	●PD3.0 最大100W PPS対応 ●Samsung-AFC 12V ●Huawei-FCP 最大24W/SCP 最大22W		●QC2.0/QC3.0 12V	

■製品特長

- ・車両のバッテリー充電とUSB接続機器充電の2WAY仕様。
- ・モバイルバッテリーやUSB Type-Cアダプターで手軽に車両バッテリーが充電できる。
- ・バイクのバッテリーに適した出力で充電し、車両バッテリーを劣化させにくい。
- ・USB接続機器を急速充電できる。

■ 各部名称



専用クランプ



スペーサー

※φ22.2のハンドルに
取り付ける際に使用してください。



六角レンチ

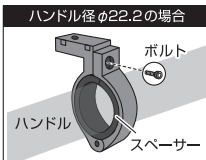
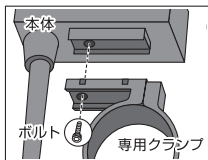


ボルト



■ 取り付け方法

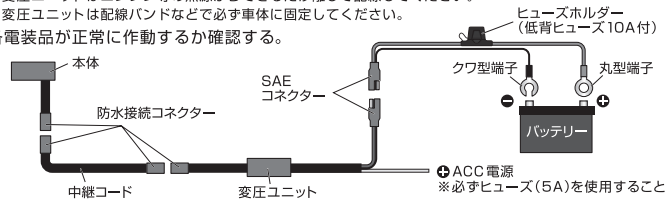
- 付属の六角レンチを使用し、本体と専用クランプを付属のボルトで固定する。
- 専用クランプを付属のボルトで車両のハンドルに固定する。
※ハンドル径φ22.2の場合、付属のスペーサーを専用クランプとハンドルの間に挟んでから固定してください。
※必ず水平に取り付けてください。



■ 配線方法

- 注意**
- 車両のイグニッションコイル、プラグなどから10cm以上離して配線、取り付けをしてください。コイルで発生するノイズにより本体が誤作動し、スマートフォンなどの接続機器および本製品が破損するおそれがあります。
 - 端子接続部・ヒューズ部は水のかからない箇所に取り付けると、防水処理をしてください。

1. バッテリー端子をマイナス、プラスの順に外す。
2. 電源取り出しコードの丸型端子を⊕プラス、クワ型端子を⊖マイナスの順にバッテリーに接続する。
※絶対にコードの⊕⊖を逆に接続しないでください。本製品および車両が故障します。
3. 電源取り出しコードと変圧ユニット付コードのSAEコネクタを接続する。
4. ヒューズ電源(別売)などを使用し、変圧ユニット付コードのACC電源コードを⊕ACC電源に接続する。
※必ずヒューズ(5A)を使用してください。
5. 本体と中継コードの防水接続コネクタを接続する。
6. 中継コードと変圧ユニット付コードの防水接続コネクタを接続する。
※変圧ユニットはエンジン等の熱源からできるだけ離して記録してください。
※変圧ユニットは配線バンドなどで必ず車体に固定してください。
7. 各電装品が正常に作動するか確認する。



■ 使用方法

● LEDディスプレイ表示

ACC ON USB接続機器 充電モード	エンジンOFF エンジンON	車両のバッテリー電圧表示 車載発電機電圧表示	OUT IN 14.4
ACC OFF 車両バッテリー 充電モード	充電中 充電完了	充電電圧を表示 ※USB Type-C電源を接続していない時は何も表示されません。 最後の桁が点滅 最後の桁が点滅停止	

ACC OFF 車両バッテリー充電モード

1. 車両のACCをOFFにする。
2. USB Type-Cコード(別売)を使用して、本体のUSB Type-CポートにモバイルバッテリーなどのUSB Type-C電源を接続し、LEDディスプレイに【IN】と表示されていることを確認する。
※モバイルバッテリーの出力や容量によっては十分に車両バッテリーを充電できない場合があります。
※使用するUSB Type-Cコードによっては充電に必要な電力を供給できない場合があります。
※直射日光の当たる箇所・高温になる箇所で使用しないでください。USB Type-C電源が発熱・発火するおそれがあります。

